

令和元年度みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議

Miyagi Sennan

日時 令和元年11月 日 ()
場所 大河原町
参集 仙南2市7町の首長及び関係者
説明 事務局 (大河原町)



Cycle Tourism



令和元年度みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議

目 次

- 1 ページ みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議について
- 2 ページ みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議・作業部会
- 3 ページ 仙南地域のサイクルツーリズムの現状について
- 4 ページ サイクリストの視点について
- 5 ページ 3か年の事業見通しについて
- 6～7 ページ 令和2年度事業計画（案）
- 8 ページ 事業のスケジュール（案）
- 9～10 ページ 令和2年度収支計画（案）

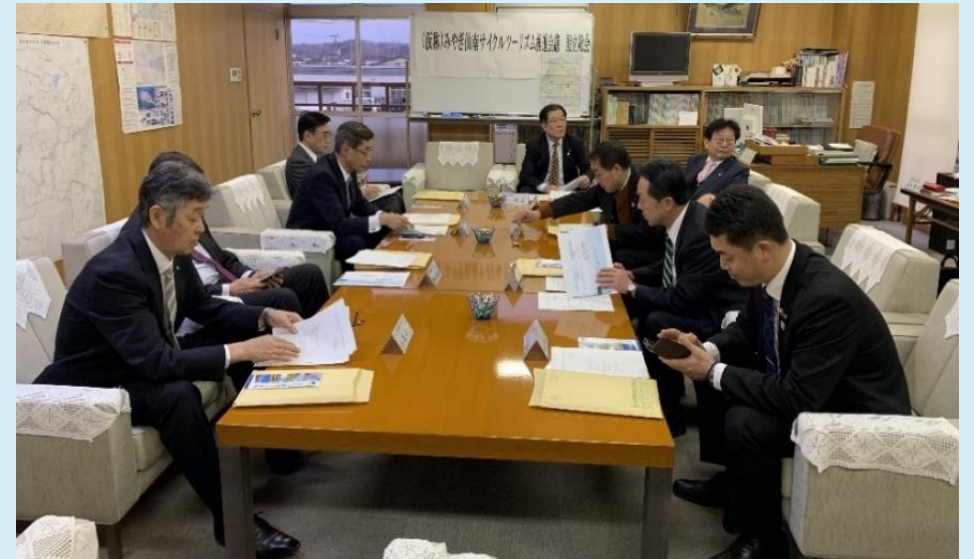
*Miyagi Sennan
Cycle Tourism*



1. みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議について

仙南地域の魅力ある観光資源をつなぎ、交流人口及び関係人口などの増加並びに仙南地域全体の活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進することを目的に、平成31年2月25日に「みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議」を設立。

本推進会議は、連携で行うサイクルツーリズム事業の毎年度事業計画及び収支計画等を協議し、事業内容の合意形成、各市町の負担金を決めて、事業を具現化していくものです。



2. みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議・作業部会

みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議（以下「推進会議」という。）では事業計画及び収支計画等を作成するため、各市町観光担当者と組織する作業部会を令和元年5月28日に設置。以下、4回の作業部会を開催しました。

○作業部会の協議

- R1.5.28 第1回作業部会
（作業部会の進め方・仙南地域の現状・推進手法等）
- R1.7.29 第2回作業部会
（専用サイト・環境調査・ガイドマップ・フォトコンテスト等検討）
- R1.9.6 第3回作業部会
（ガイドマップ作成資料収集・事業費積算等）
- R1.10. 第4回作業部会
（今年度準備・令和2年度事業計画・収支計画等）



3. 仙南地域のサイクルツーリズムの現状

仙南地域においては、蔵王町「ヒルクライム」「東北シクロクロス」、丸森町「サイクルフェスタ丸森」、白石市・七ヶ宿町「グル麺ライド」、村田町「SUGO ママチャリエンデュール」等イベントが開催されていますが、各々年に一度、主催も様々であり、観光との連携度も強弱があります。

レンタサイクルも実施されていますが、活用は低調であり、地域にサイクリストは増えつつも、受入体制が整っておらず、サイクリストへの認知度、周遊観光PR等が行き届いていない現状であります。

仙南地域が連携して、サイクリストが訪れてくれるよう、地域の魅力の情報発信、人と地域と観光がつながる仕組みづくりが求められています。



4. サイクリストの視点から

- ・自転車は渋滞、公害、健康、リフレッシュ等マイナス部分がない。
- ・仙南地域は平坦な道路が多く走りやすい。国道は交通量が多く走りにくいし、景色の展開が楽しめない。
- ・サイクリスト初心者はどこをはしればよいかわからないので、マップの需要はある。経験者はどのように走るか構想を練るときにマップを使う。走る時には持ち運べる大きさでないと持たないことが多い。
- ・サイクリストは写真の影響を受けやすい。きれいな景色、名所等と自転車や自分を写し、SNS上で行ったことをアピールする。つまり、お気に入りの場所の情報発信をしてくれる。仙南地域の景色、グルメの話題、人との交流、出来事など、これまで情報発信が少なかったので、まだまだ提供できる話題がある。
- ・情報の入手はフェイスブックが多い。走った時の感想、写真の投稿など生の情報を得やすい。
- ・イベントができれば、地域の良さが知れる。市町の連携ができれば広範囲で対応でき、情報発信エリアも広がる。



5. 3か年の事業見通しについて

令和2年度 認知度向上

- ・ガイドマップに仙南地域のサイクリングコース及び観光情報を掲載し制作
- ・事務局（大河原町）運営フェイスブックにより仙南市町情報を発信、サイクリストとの交流を開始
- ・フォトコンテストにより、サイクリストとの連携を強化。写真投稿による仙南地域の素材収集

令和3年度 受入体制づくり(案)

- ・サイクリスト歓迎店を設置し、サイクルスタンプラリーの実施
- ・休憩所の指定、自転車積載車の無料駐車場の指定等多様なサイクリングを提案
- ・フォトコンテストを継続し、写真によるサイクリスト交流・気運をさらに高める

令和4年度 市町連携イベント等による周遊観光の強化(案)

- ・市町連携による新たなイベント（例：花めぐりライド・地域の逸品グルメライド等）で話題づくり
- ・サイクルカード発行による割引店登録等、サイクリスト誘致策を地域や民間と検討
- ・フォトコンテストの優秀投稿写真を使用し、カレンダー作成または連携店表札等作成



6. 令和2年度事業計画（案）

(1) ガイドマップ制作

- ①サイクリストによる試走等、サイクリストの一押しの仙南紹介を記事にする。
- ②市町をまたいだ50～80km程度のサイクリングモデルコースを4～5設定。
スタート・ゴール、所要時間、獲得標高等を付記。
- ③市町が推奨する立ち寄りスポット（絶景・グルメ・歴史・休憩等）を掲載。
- ④地図上に、店舗等QRコードによる情報収集、工具貸出・サイクルラック・トイレ・無料駐車場等をマップに記載。
- ⑤仙南地域の年間サイクルイベント紹介。QRコード表示により、イベントサイト閲覧。
- ⑥A2サイズのマップに編集し、持ち運びしやすいポケットサイズ仕様。



(2) フェイスブック開設

○事務局（大河原町）でフェイスブック運営

各市町の情報

↓集約

事務局・編集→

みやぎ仙南
サイクルツーリズム
フェイスブック

→サイクリストへ情報提供

←サイクリストから走行の感想、写真の投稿

⇒サイクリスト同士で情報拡散

(3) フォトコンテスト開催

○フェイスブックによるフォトコンテスト開催

①事務局で
募集掲載→

みやぎ仙南
サイクルツーリズム
フェイスブック

←②サイクリストから写真投稿

→⑤写真集として情報発信

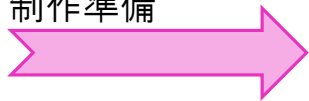
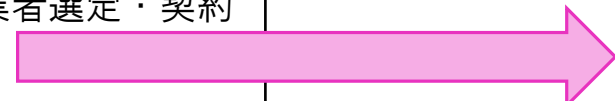
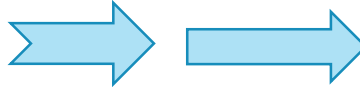

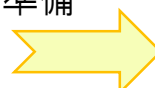
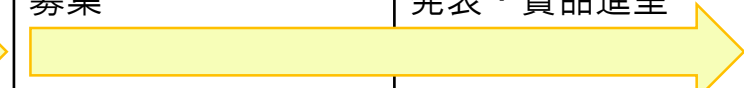
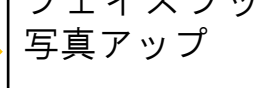


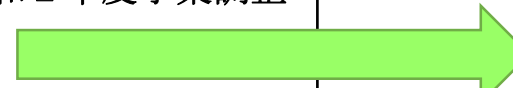

↳③優秀作品決定

④賞品として各市町地場産品を進呈

※優秀作品はガイドマップやフェイスブック内写真集、今後の事業に活用していく。



7. 事業スケジュール (案)

	R1. 11~R2. 3	R2. 4~6	R2. 7~9	R2. 10~12	R3. 1~3
ガイドブック制作	制作準備 	制作業者選定・契約 		納品	
フェイスブック開設	事務局準備 開設 	事務局運営 			
フォトコンテスト	事務局準備 	募集 	発表・賞品進呈 	フェイスブックに 写真アップ	
市町村振興総合補助金	次年度要望事業提出 (サイクルツーリズム推進事業)	内示・申請・交付決定・事業着手 		成果品・実績報告	
作業部会 (サイクリスト有識者2名を依頼し、作業部会協議により事業計画を立てる)	メール対応により事業進捗を連絡。資料収集に協力依頼 	令和2年度事業調整  令和3年度事業検討 			
みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議		総会		次年度事業合意	



8. 令和2年度収支計画（案）

○収入

（単位：円）

項目	予算	摘要
1. 事業費負担金	450,000	負担金50,000円×9市町 (事務費6,000+事業費44,000)
2. 運営費負担金	350,000	大河原町運営費負担金
3. 補助金	700,000	宮城県市町村振興総合補助金
4. 協賛金	1,000	
5. 雑入	1,000	
合計	1,502,000	

※仙南地域サイクルツーリズム推進委託業務については、宮城県市町村振興総合補助金を大河原町で申請し、対象となれば事業費140万円の2分の1の70万円を県補助金として収入に入れる。



みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議



○支出

(単位：円)

項目	予算	摘要
1. 会議費	12,000	資料作成経費、お茶代等
2. 報償費	45,000	フォトコンテスト等賞品
3. 役務費	20,000	賞品・成果品郵送代等
4. 委託料	1,400,000	仙南地域サイクルツーリズム推進委託料 (ガイドブック制作・作業部会支援・情報発信支援等)
5. 予備費	25,000	
合計	1,502,000	

※事業内容の大きな変更を伴わない予算の流充用については、会長に一任するものとする。

※フェイスブック運営による情報発信は大河原町(事務局)が構築し運営、本事業の進捗状況においても大河原町ホームページに掲載し、インターネット上の情報発信は費用を抑えた運営を行うものとする。

